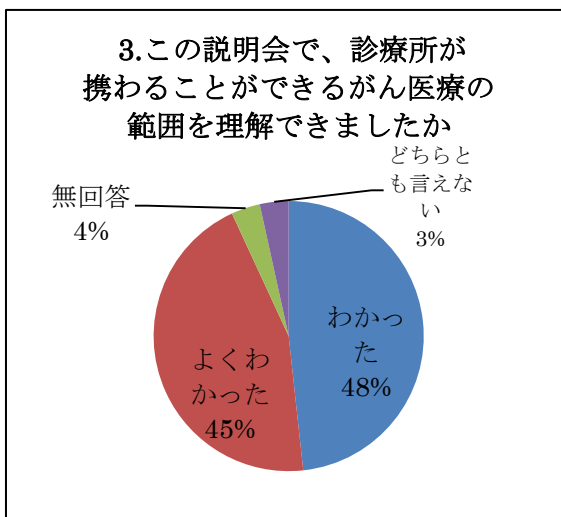
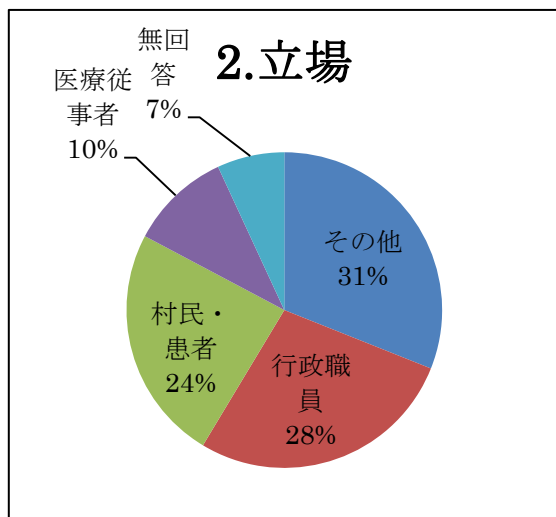
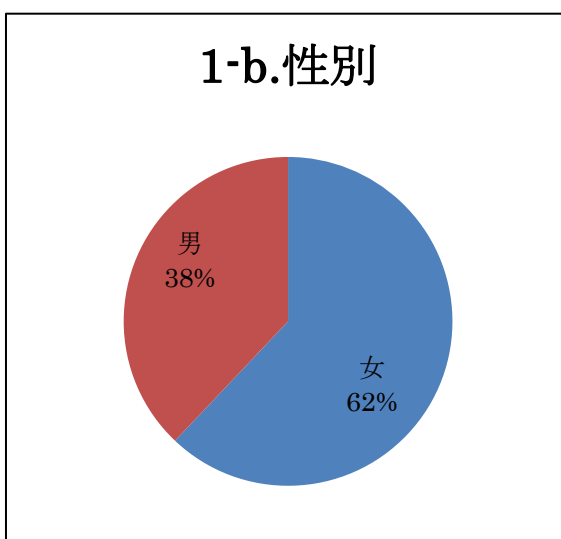
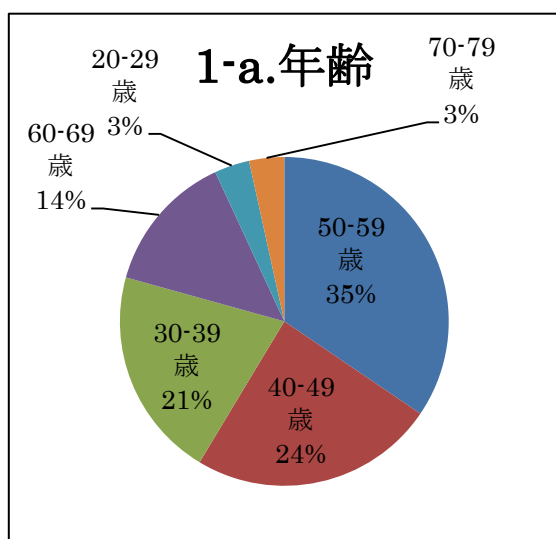


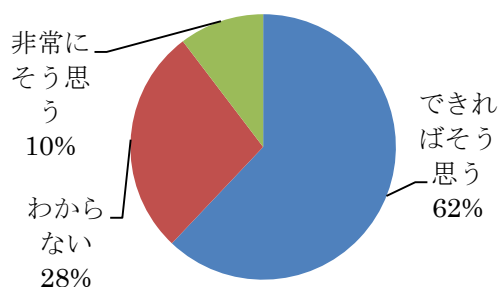
がん専門医が伝える病院・診療所の上手なかかり方

もしも島でがんになったら アンケート

- 日時 平成28年9月30日(金) 午後7時～8時
- 場所 伊平屋村産業連携拠点センター プレゼンテーションホール
- 対象 伊平屋村にお住まいの方
- 参加者 33人 (アンケート回答率 87.9%)



4.もし身内が、がんなどを患い自宅で最期を希望されるとき、自宅で看取りたいですか



5. 4の理由を教えてください

大変だとは思いますが、本人の事を考えると生まれ育った所で一生を終えたいじゃないかと？

本人は自分の家で亡くなることは安心だと思います。

最後は本人の希望を通したい。

本人の希望を尊重したい気持ちもある反面、不安もある。

身近にそういう家庭があり、周りの友人、親族に支えられていたいと思います。本人が怖がりだった方だったので、治ると思いながらがんばっていました。それも家族で支えていました。

- ・お金、費用（医療費）
- ・家族の負担、高額医療制度を使っても額的に負担。

苦しむ姿を見たくないの。

最期ぐらい島で過ごさせたい。

自分が生活していた場所で安心して逝きたい。逝かせたい。

父親が3年前にがんで亡くなった時に病院で寂しくがんと戦っていたんだらうなと思い、父親を家で看取ってあげればよかったとすごく後悔したから。

痛みが伴うので、気持ち的には自宅で看取りたいと思うが現実的には厳しいと思う。

希望というならば…。

苦しむ姿を直視できるのかわからないの。

わたしの母は島で看取りたいと思っています。

自宅で最期、島で最期を迎えたいという思いがあると思うから。

本人の意志に添いたいと思う。（できる限り）家族で看取ることができる状況であれば…ですが。

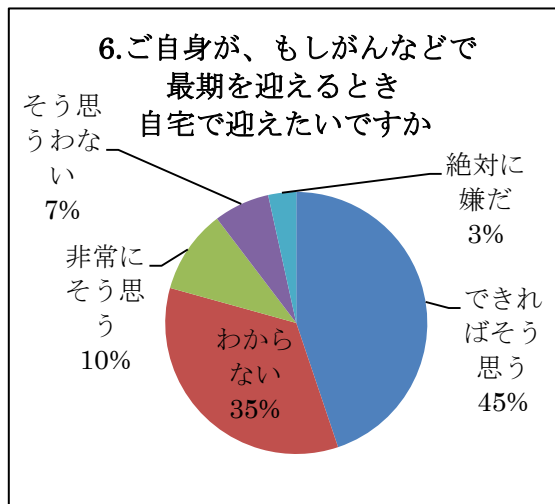
本人の意思確認で、本人が希望するならなるべく叶えてあげたい。

本人がそれを望むなら多分受け入れると思う。

残り少ない時間を病院等で寂しく過ごすより家族で助け合い見守ったほうが人生の最期にふさわしいと思うから。

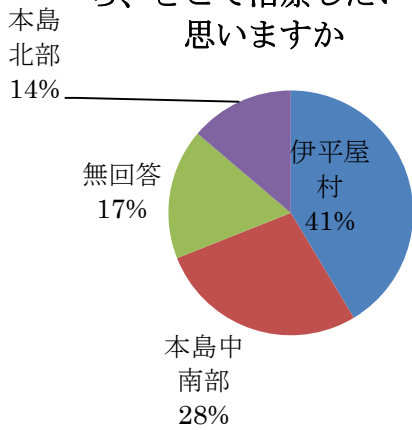
我が生まれ育った島が好きだし、家族に心配を掛けず静かに旅立ちたい。

希望にそって叶えてあげたい。

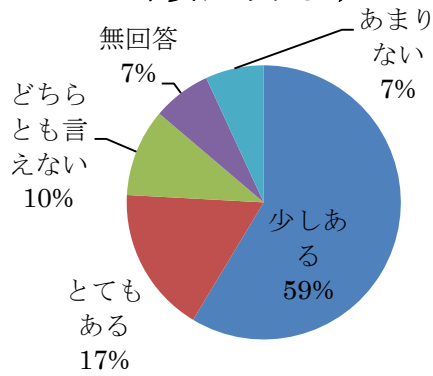


7. 6の理由を教えてください
そうしたいと思うが、家族に大変な思いをさせるなあ?とってしまう。
自分以外の方々に迷惑をかけられるから村外の病院でもいいと思います。
最後であるなら自宅で良いかなと思う。
残された時間であるならば大切な人と過ごしたい。
最後まで友人達とかかわっていけたら...と思う(自分の場合)。または家族に負担をかけたくないとも思う。
他人に見られたくない。
家族の負担が大きくなければ自宅を希望する。大切な人がそばにいてくれる方が穏やかに過ごせる。
安心して家族と一緒にいたい。
家族と短い最期を過ごしたい。子供達と思い出を作り、子供達が私のことを忘れないためにもぜひ一緒に過ごしたい。
わが家が一番よい。
家族の負担を考えると病院でケアを受ける方がよいと思う。
家族の気持ちもあるから。
希望としては自宅で迎えたい。
最期は痛みや不安が強いと思うので、点滴で意識がなくなるくらいの治療をしてほしい。
家族の理解が得られれば自宅で最期をむかえたいと思う。 →最後の船戸先生の話聞いて、自分が暮らしてきた好きな家、場所だから。
家族と一緒に暮らせるのであれば願う。しかし家族の負担になるのであれば考えてしまう。
家族といっただけで気持ちを切り替えることができる。
自分としては子供達がいる所で治療を続け最期を迎えたい。
最期は家族に見守られながら迎えたいから。
家族にありがとうのことばで感謝を申し上げ家族に見守られ健やかに旅立ちたい。
家族と一緒にいたいから。

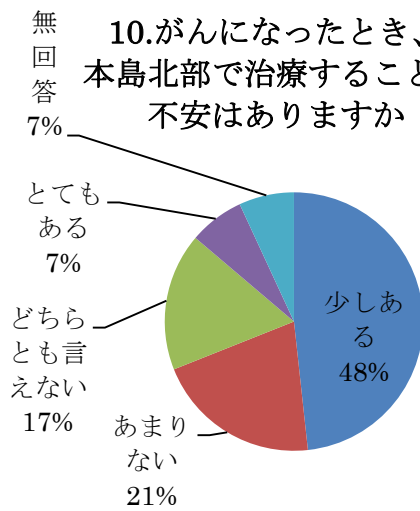
8.もしあなたががんになったら、どこで治療したいと思いますか



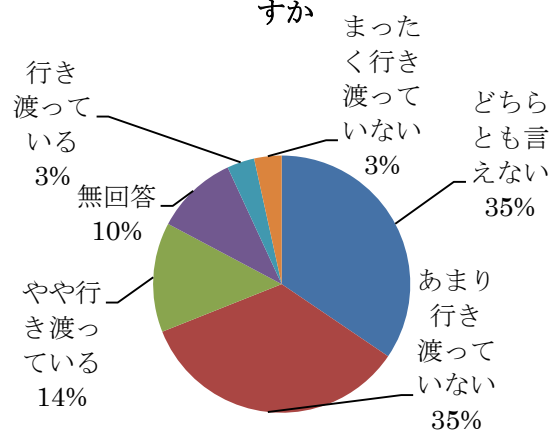
9.がんになったとき、伊平屋村で治療することに不安はありますか



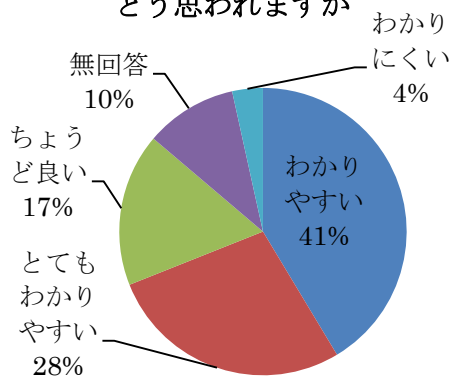
10.がんになったとき、本島北部で治療することに不安はありますか



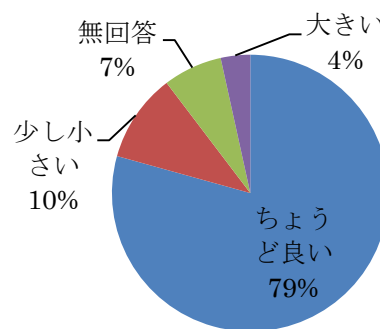
11.伊平屋村では、がんの療養について十分な情報が行き渡っていますか

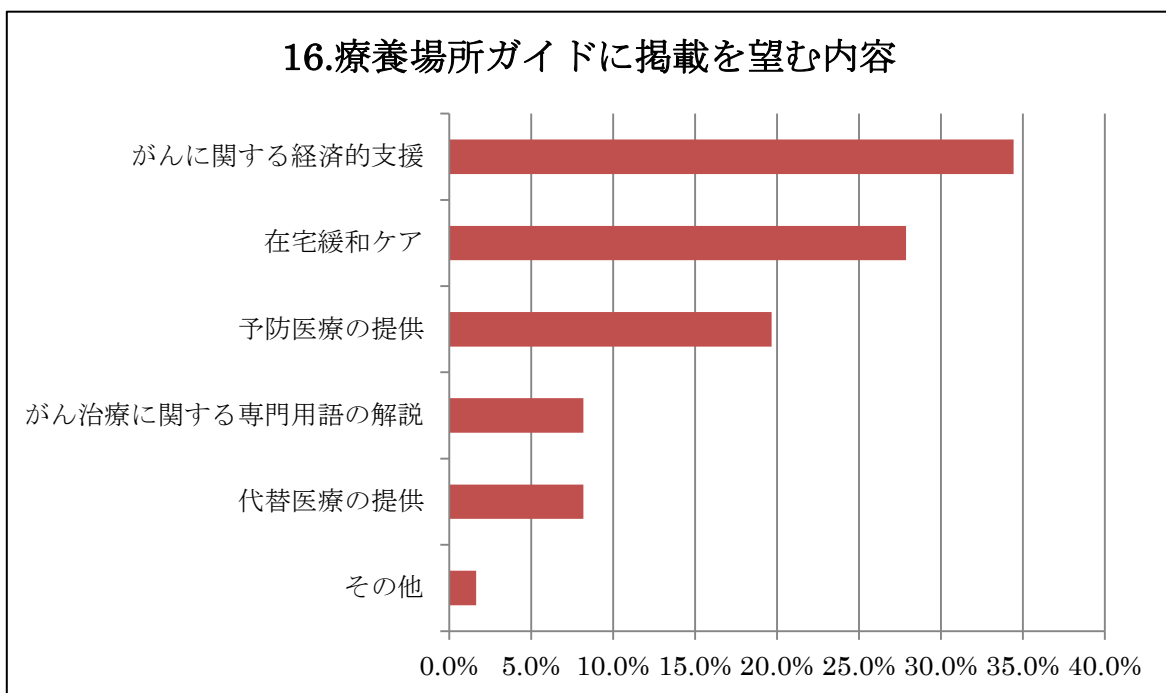
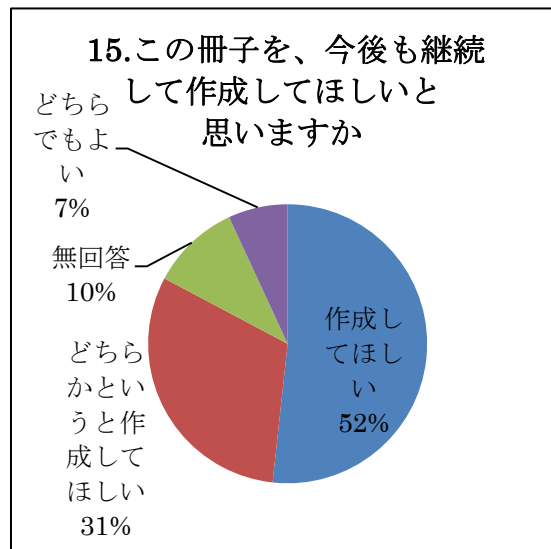
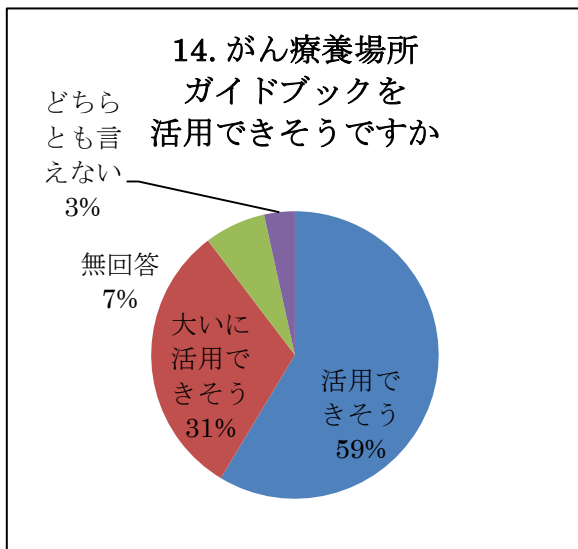


12.がん療養場所ガイドブックの内容についてどう思われますか



13.がん療養場所ガイドブックの文字の大きさ(フォントサイズ)について





17. その他 説明会の感想や、診療所への要望など何かあれば自由に記載してください

伊平屋診療所の役目やがんに対する事がわかりました。もっと村民にも声を掛け合い多くの参加を願いたい。

船戸先生の話しを聞いて心強く思いました。伊平屋に来てくれてありがとうございます。

病院と病院の連絡ガイドがあると思います。診療所にて待ち時間が長い事どうか方法ありませんかね。

ガイドラインであったが分かり易くてよかったです。

がんがとても身近な病気であること、また治療ができる病気だとわかった。

とてもわかりやすい。よいです。

初めての説明会で色々学ぶことも多かったので、これからも事あるごとに説明会をもっとほしいと思います。

このように具体的対応や内容に踏み込んだ講演会はもっとあっても良い、普通になればと思いました。死に方を考えることは生き方ですね。

素晴らしいお話をありがとうございました。がんという病気についてこれからも学んでいきたいと思います。

出来るだけ村民のニーズに対応した状況等金のかからない治療、診療所を目指してください。生きるとは金がかかる。

船戸先生はすばらしい先生だと思います。きめ細かく説明があるからです。